

# 高野新聞

Vol.80



たかの  
**高野 たけし**  
無所属 42歳

逗子市議会議員（4期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・基地対策特別委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員

## 高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

### ◆逗子市の財政状況

第3回定例会において、平成26年度の決算報告がありました。収支の均衡を見る上で重要な指標となる、標準財政規模に対する実質収支額の比率が前年度と比べ0.3ポイント上昇していることから、依然厳しい状況にあることがわかります。（表1）

＜財務比率の推移＞（表1）

	実質収支比率	公債費比率	財政力指数
平成26年度	7.80%	7.20%	0.856
平成25年度	7.50%	8.70%	0.851
平成24年度	8.10%	9.20%	0.852

**実質収支比率:** 標準財政規模に対する割合。

一般的には3～5%が望ましいとされている。

**公債費比率:** 経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。

一般的には10%以内が望ましいとされている。

**財政力指数:** 財政上の能力を示す指数。

この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

### ◆進む財政の硬直化

また、市政運営にかかる経費の割合（経常収支比率）が増加の一途を辿っているため、時流に合わせた行政サービスを行っていくためには改善していく必要があります。（表2）

＜一般会計・経常収支比率の状況＞（表2）

	経常一般財源等	経常的経費充当一般財源	経常収支比率
平成26年度	12,225,958,000	11,997,615,000	98.1%
平成25年度	12,270,048,000	11,949,163,000	97.4%
平成24年度	12,161,254,000	11,809,939,000	97.1%

**経常一般財源等:** 毎年度経常的に収入される財源の内、用途が決まっておらず自由に使用できる収入。

**経常的経費充当一般財源:** 毎年度経常的に支出される経費で、特定財源がなく経常一般財源等で賄われるべきもの。

**経常収支比率:** 財政の弾力性を示す指標で、一般的には70～80%が望ましいとされている。

政治資金の残り

あと 26,987円

（6月1日～8月31日の内訳）

支出…名刺代

5,943円

### ◆上昇する3特別会計への対応が課題

さらに、特別会計に目を向けてみると、「国民健康保険事業」、「後期高齢者医療事業」、「介護保険事業」の3特別会計において年々歳出決算額が上昇していることがわかります。（表3）

これは、高齢化率の上昇と人口動態の変化に起因しているところが大きく、今後さらに進むものと考えられることから、長期的な視点に立った対応が必要となります。

《特別会計の歳出決算額の推移》（表3）

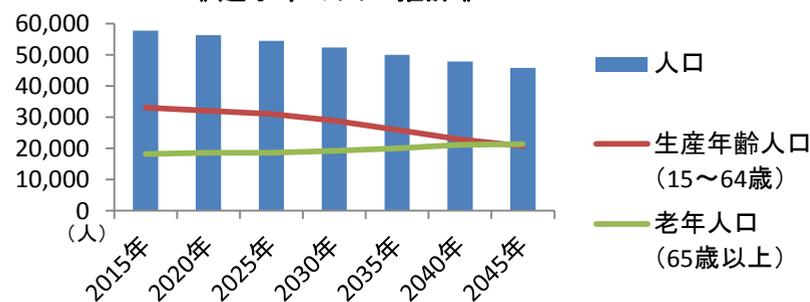
	平成26年度	平成25年度	平成24年度
国民健康保険事業特別会計	6,728,405,928	6,726,717,800	6,327,516,373
後期高齢者医療事業特別会計	1,073,013,047	1,052,840,891	955,306,753
介護保険事業特別会計	5,281,233,999	4,903,372,241	4,647,535,630
下水道事業特別会計	2,094,122,870	2,022,971,778	2,676,285,022

### ◆30年後には人口が1万人減少!?

こうした状況を改善していくためには歳出の削減を図ることはもちろん、今後危惧されている人口減少社会への対応も重要な課題と言えます。人口減少に伴い生産年齢人口の減少が進めば、本市の市税収入の根幹をなす個人市民税の減収にも直結してくるからです。（グラフ1）

そこで、行政サービスの充実と魅力あるまちづくりで市外の方が住みたくなるまちを目指して頂きたい旨、市長に提言いたしました。

《逗子市の人口推計》（グラフ1）



# Topics

## ◆来年3月に開園予定

池子の森自然公園スポーツエリアは本年2月に開園し、多くの市民の方々に活用されています。そして、自然環境調査のため開園が遅れていた緑地エリアにおいても、来年の3月中旬より限定的に開園(土・日・祝日)していく方向性が行政当局より示されました。今回行った自然環境調査において、ホタルやユビナゴウモリ、シュレーゲルアオガエルなどの貴重な動植物の生息が確認されたため、当面限定的な利用にするとのことです。当初は様々な整備計画が盛り込まれていた緑地エリアですが、今回の結果を受け、残された池子の自然を感じることができるよう過度な整備を控えた活用にシフトしていくべきと思っています。

また、久木側のエントランスにおいては当初の予定通り歩行者と自転車での出入りが可能となるため、市内の西側地域からも行きやすくなるのではないのでしょうか。



## ◆スペースを拡大しリニューアル

この間、JR逗子駅周辺への一時利用駐輪場の充実を行政当局に求めてきましたが、この夏、市役所裏にある駐輪施設の改修工事が行われました。(利用可能時間は10時~17時30分)

今回の整備工事において、以前より約40台多い100台(自転車84台、125cc以下の小型バイク16台)の駐輪が可能となりました。また、以前は乱雑に止められていることも多くスペースに無駄ができてしまっていたのですが、今回駐輪スペースを定めることにより、より多くの利用者に活用していただけるようになりました。

違法駐輪を減らすべく、行政当局も啓発活動などを定期的に行ってはいるものの、違法駐輪の撤去には毎年約1千万円の予算をとって対応しているような状況が続いています。そのため、無料駐輪スペースの利用を促進していくとともに、買い物客を対象とした一時利用の駐輪施設を今後も中心市街地各所に設けるなどの対策を講じていく必要があると考えています。



# どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

「沼間3丁目の谷戸にある市道が草木に覆われて通行できない状態になっている」との連絡を近隣住民の方よりいただき、現地を確認しに行ってみました。

入り口付近は何とか道はわかる程度の状態だったのですが、途中まで進むと道は全く見えないほど草木が生い茂っており、草木をかき分けなければ進むことができないほどに。

この市道の裏手には昨年開設した特別養護老人ホーム「逗子杜の郷」があり、災害時に近隣住民の方々が避難できる場所としての役割を担ってくれている他、地域の方々が高台に逃げるための避難階段も設置してくれています。その避難階段に行くためにはこの市道を通らなければならないことから、近隣住民にとってここは災害時の避難経路にもなっている重要な道路です。

そこで、本市の環境都市部に改善を求めたところ、翌日には早速対応してくれて通行できる状態に回復。

災害は何時やってくるかわからないものなので、災害時避難経路については日頃からの管理は必須であると言えます。



草木が生い茂り  
通行も困難な伐  
採前の避難路

草木を伐採して  
通行しやすくなっ  
た避難路



## あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。

送付先

Tel / Fax: 046-871-7368 E-mail: takano\_zushi@yahoo.co.jp